

## 糖代謝(尿検査)

糖(尿糖)	
意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 血液中の糖の濃度が高くなると(160mg/dL以上)、近位尿細管での再吸収能力を超えるため、尿中に排出される</li> <li>• 糖尿病のスクリーニングに用いられるが、診断には用いない</li> </ul>
基準値*	定性：2~20mg/dLまたは陰性(試験紙法)
異常値で疑う疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 血糖値も高い場合：糖尿病、胃切除後、甲状腺機能亢進症など</li> <li>• 血糖値は正常の場合(腎の糖排出閾値の低下)：腎性糖尿(初期)、Fanconi症候群、慢性腎不全、妊娠など</li> </ul>
服薬指導に活かせるポイントなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>❑ 糖尿病の場合、多尿、頻尿になることがあるので、尿の量や回数に注意し、一方で水分補給にも気を付ける</li> <li>❑ ステロイド投与で高値を示す可能性があり、服用に注意する</li> <li>❑ アスコルビン酸、ペニシリン系・セファロスポリン系抗生剤が検査(還元法)に影響を及ぼし、偽陽性となる可能性があるため、服用に注意する。また、アスコルビン酸はペルオキシダーゼ共役酵素法で反応を抑制し偽陰性になる可能性もある。アスコルビン酸(ビタミンC)は健康食品として常用している場合がある</li> <li>❑ SGLT2阻害薬は尿糖排出促進により血糖値を低下させるため、脱水や尿路感染症に注意が必要。水分補給を勧める</li> </ul>